

対象校No. 477
注4

学校コード F113310103215
注3

設置年度 令和 8年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更
注1

届出

注2
多摩美術大学 美術研究科 博士前期課程 統合デザイン専攻

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人 多摩美術大学
令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	教務部教務課
職名・氏名	カチヨウホ サ カツラ アヤノ 課長補佐 桂 綾乃
電話番号	042-679-5604（内線：4464）
（夜間）	042-676-8611
e-mail	edu@tamabi.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・「〇〇短期大学 △△学科」
・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」
・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

大学院美術研究科博士前期課程

＜統合デザイン専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教育研究実施組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	21

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 多摩美術大学

(2) 大学名

多摩美術大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒158-8558
東京都世田谷区上野毛3丁目15-34

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アオヤギ マサノリ) 青柳 正規 (令和元年4月)		
学長	(ナイトウ ヒロシ) 内藤 廣 (令和5年4月)		
学部長	(マツウラ ヒロアキ) 松浦 弘明 (令和元年4月)		
学科長等	該当なし		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和7年度に報告する内容 → (7)

令和8年度に報告する内容 → (8)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和8年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
美術研究科 博士前期課程 統合デザイン専攻 修士(芸術)	美術関係	2年	8人	2年次 0人 3年次 -人 4年次 -人	16人	-	【基礎となる学部】 美術学部統合デザイン学科

- (注) 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	8人 0人 () []	0人 () []	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	1.0倍	-	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	27 []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	21 []	() []				
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	8 []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	8 []	() []				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.0倍	-				

- (注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和9年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.0倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.0倍以下の場合や、1.0倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) 一③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度 令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[3]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[3]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和3年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
令和8年度	8 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
			令和8年度	0 人	0 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数(a)}}{\text{令和8年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜大学院美術研究科 博士前期課程 統合デザイン専攻＞

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（助）外の教員
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通選択科目	演劇舞踊特論	1・2前			2							2
	劇場美術デザイン特論	1・2前			2							3
	リサーチスキルズ	1通			2							1
	アカデミックジャパニーズⅠ	1前			2							1
	アカデミックジャパニーズⅡ	1後			2							1
	統合デザイン特論	1・2通			4		7	2	1			
小計(6科目)	-			0	14	0	7	2	1			7
統合デザイン専攻(専攻専門科目)	統合デザイン研究Ⅰ	1通		6			7	2	1			3
	統合デザイン研究Ⅱ	2通		6			7	2	1			3
	研究指導(統合デザイン)Ⅰ	1通		3			7	2	1			3
	研究指導(統合デザイン)Ⅱ	2通		3			7	2	1			3
	統合デザイン演習Ⅰ	1通		4			7	2	1			3
	統合デザイン演習Ⅱ	2通		4			7	2	1			3
	統合デザイン実習	1通		2				1	1			1
小計(7科目)	-			28	0	0	7	2	1			3
合計(13科目)	-			28	14	0	7	2	1			3
卒業要件及び履修方法												
統合デザイン専攻専門科目28単位、共通選択科目から6単位以上、合計34単位以上を修得して、さらに「特定の課題についての研究の成果(修士作品・課題研究作品)」または「修士論文(修士論文または課題研究報告書)」を提出し、審査に合格すること。 リサーチスキルズは全学生、アカデミックジャパニーズⅠ・Ⅱは留学生(日本語を母語としない者)の1年次の要履修科目(単位修得は必須としない)とする。												

【令和8年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					（助）外の教員
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通選択科目	演劇舞踊特論	1・2前			2							2
	劇場美術デザイン特論	1・2前			2							3
	リサーチスキルズ	1通			2							1
	アカデミックジャパニーズⅠ	1前			2							1
	アカデミックジャパニーズⅡ	1後			2							1
	統合デザイン特論	1・2通			4		7	2	1			
小計(6科目)	-			0	14	0	7	2	1			7
統合デザイン専攻(専攻専門科目)	統合デザイン研究Ⅰ	1通		6			7	2	1			4
	統合デザイン研究Ⅱ	2通		6			7	2	1			4
	研究指導(統合デザイン)Ⅰ	1通		3			7	2	1			4
	研究指導(統合デザイン)Ⅱ	2通		3			7	2	1			4
	統合デザイン演習Ⅰ	1通		4			7	2	1			4
	統合デザイン演習Ⅱ	2通		4			7	2	1			4
	統合デザイン実習	1通		2				1	1			0
小計(7科目)	-			28	0	0	7	2	1			4
合計(13科目)	-			28	14	0	7	2	1			4
卒業要件及び履修方法												
統合デザイン専攻専門科目28単位、共通選択科目から6単位以上、合計34単位以上を修得して、さらに「特定の課題についての研究の成果(修士作品・課題研究作品)」または「修士論文(修士論文または課題研究報告書)」を提出し、審査に合格すること。 リサーチスキルズは全学生、アカデミックジャパニーズⅠ・Ⅱは留学生(日本語を母語としない者)の1年次の要履修科目(単位修得は必須としない)とする。												

(1) -② 授業科目表に関する変更内容

【令和8年度】

・特定の非常勤教員に固定せず、多様な領域のゲスト講師から生の実務や最新動向を多角的に学ぶ体制へと移行する理由により、「統合デザイン実習」の教員等の配置を「専任2、非常勤1」から「専任2、非常勤0」に変更。

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
 - ・不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	6 科目	0 科目	13 科目	7 科目 [0]	6 科目 [0]	0 科目 [0]	13 科目 [0]	増減なし

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	169,019㎡	0㎡	0㎡	169,019㎡				
	そ の 他	30,636㎡	0㎡	0㎡	30,636㎡				
	合 計	199,655㎡	0㎡	0㎡	199,655㎡				
(2) 校 舎	専 用	115,652㎡	0㎡	0㎡	115,652㎡				
	(115,652㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(115,652㎡)					
(3) 講義室等・新設研究科等の専任教員研究室	講義室		実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室	研究室は共同研究室			
		61室	316	62	1				
(4) 図書・設備	新設研究科等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本	※学部等単位での特定不能なため、大学全体の数 ※最新の数値を記入した。(8)	
		[うち外国書]	電子図書	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	[うち外国書]	種	[うち外国書]	点	点			
	美術研究科 統合デザイン専攻	332,337 [101,896] 328,581 [103,097] (319,759 [98,596]) (317,851 [99,205])	1,654 [48] 1,674 [0] (1,498 [16]) (1,478 [0])	8,140 [6,222] 6,484 [4,406] (8,140 [6,222]) (6,340 [4,304])	4,935 [4,935] 3,076 [3,076] (4,935 [4,935]) (3,002 [3,002])	—	—		
計	332,337 [101,896] 328,581 [103,097] (319,759 [98,596]) (317,851 [99,205])	1,654 [48] 1,674 [0] (1,498 [16]) (1,478 [0])	8,140 [6,222] 6,484 [4,406] (8,140 [6,222]) (6,340 [4,304])	4,935 [4,935] 3,076 [3,076] (4,935 [4,935]) (3,002 [3,002])	—	—			
(5) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※最新の数値を記入した。(8)
		教員1人当り研究費等	297千円 283千円	297千円 283千円	図書購入費	901千円 1187千円	1103千円 1187千円	1103千円 1187千円	
		共同研究費等	1500千円 1800千円	1500千円 1800千円	設備購入費	53415千円 60181千円	24365千円 8911千円	24365千円 8911千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1789千円	1559千円	—千円	—千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の2)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(8)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・国立大学については「(5)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	多摩美術大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
美術学部	4	1015	-	4060	-	1.10	-	-	昭和28	-			
絵画学科	4	195	-	780	学士(芸術)	1.09	-	-	昭和28	東京都八王子市鍵水2丁目1723番地			
彫刻学科	4	30	-	120	学士(芸術)	1.22	-	-	昭和28	同上			
グラフィックデザイン学科	4	184	-	736	学士(芸術)	1.07	-	-	昭和28	同上			
情報デザイン学科	4	122	-	488	学士(芸術)	1.20	-	-	平成10	同上			
建築・環境デザイン学科	4	80	-	320	学士(芸術)	1.10	-	-	平成10	同上	※環境デザイン学科は、令和6年度より「建築・環境デザイン学科」に名称変更		
生産デザイン学科	4	104	-	416	学士(芸術)	1.10	-	-	平成10	同上			
工芸学科	4	60	-	240	学士(芸術)	1.06	-	-	平成10	同上			
芸術学科	4	40	-	160	学士(芸術)	1.21	-	-	昭和44	同上			
統合デザイン学科	4	120	-	480	学士(芸術)	1.13	-	-	平成26	東京都世田谷区上野毛3丁目15番34号			
演劇舞踊デザイン学科	4	80	-	320	学士(芸術)	0.88	-	-	平成26	同上			
大学全体	4	1015	-	4060	-	-	-	-	-	-			

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	4	2
名	名	名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	2	1	0	10	3	7	3	1	0	11	4
(7)	(3)	(1)	0	(11)	(4)						
研究指導教員数			研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	研究指導教員数			研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/
うち教授数				うち教授数							
10	7	0	0	11		7	0	0			
(11)	0	0	0								
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
7	3	1	0	11	4	7	3	1	0	11	4
[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[1]
研究指導教員数			研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	研究指導教員数			研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/
うち教授数				うち教授数							
11	7	0	0	11		7	0	0			
[1]	[0]	0	0	[1]	[0]	0	0				

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、**認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を**記入するとともに、
 ・[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・「**現在（報告時）の完成年度時の計画**」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 ・[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
67	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{10} = \boxed{110} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{4}{3} = \boxed{133.33} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) -① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。

(学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{10} = 0\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和7年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注)・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・令和8年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・ **定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画	
認 可 時 (令和7年)	・美術学部彫刻学科、 情報デザイン学科、芸 術学科の収容定員超過 の是正に努めること。 【認可】 遵守事項	教育充実検討委員会からの指示を受け、毎月の学科長会議や教授会で収容定員超過率のデータを共有し、全学的な意識改革と改善に努めてきた。 具体的には、芸術学科および情報デザイン学科における入学者数の減員管理を継続した。また、留年者の増加による超過を防ぐため、「欠席過多学生への早期対応」による留年・退学の抑止策を強化した。 これらの取り組みの結果、対象学科において超過幅の縮小や数値の改善が見られ、学部全体としては入学・収容定員超過率ともに1.10以下を維持している。	履行中	左記「履行状況」で記載の通り減員管理と留年抑止策を行っているが、成績不良に起因する収容定員超過率は年度により上振れする側面が否めない。成績不良者への面談等を徹底するとともに、入学者の定員管理を入試委員会で見直す等、さらなる適正化を行う。

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）（8）」と記載してください。

【令和8年度から新たに調査対象となった学科等又は令和7年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<大学院美術研究科 博士前期課程 統合デザイン専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 専任教員数 10名（教授7名、准教授2名、講師1名）	① グラフィックデザイン分野の指導体制強化を目的に、専任教員を11名（教授7、准教授3、講師1）へ拡充した。（「5 教員組織の状況」参照）

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制	
a 委員会の設置状況	
・ 大学戦略会議、大学院委員会（大学院教務会議を含む）、自己点検・評価委員会、カリキュラム委員会、リベラルアーツセンター運営委員会をはじめ各種委員会等を設けている。	
b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）	
大学戦略会議	
令和6年度	9回開催 令和6年度発足。教員の参加状況は良好である。
令和7年度	8回開催 教員の参加状況は良好である。
大学院委員会（大学院教務会議を含む）	
令和5年度	11回開催 教員の参加状況は良好である。
令和6年度	11回開催 教員の参加状況は良好である。
令和7年度	11回開催 教員の参加状況は良好である。
自己点検・評価委員会	
令和5年度	0回開催 認証評価結果を受け、個別の課題にチーム制で検討を進めた。
令和6年度	1回開催 教員の参加状況は良好である。
令和7年度	0回開催 改善報告書提出に向け、部局ごとに是正勧告・改善課題への取り組みを進めた。
カリキュラム委員会	
令和5年度	3回開催 教員の参加状況は良好である。
令和6年度	3回開催 教員の参加状況は良好である。
令和7年度	3回開催 教員の参加状況は良好である。
リベラルアーツセンター運営委員会	
令和5年度	9回開催 教員の参加状況は良好である。
令和6年度	7回開催 教員の参加状況は良好である。
令和7年度	5回開催 教員の参加状況は良好である。

c 委員会の審議事項等

大学戦略会議

- ・ 内部質保証の推進に関する事項
- ・ 教育研究に関する基本方針及び重要施策に関する事項
- ・ 各種委員会等に対する助言に関する事項
- ・ その他学長が必要と認めた事項

大学院委員会、大学院教務会議

- ・ 入学試験について
- ・ カリキュラム原案作成について
- ・ 修了論文作品集編集委員について
- ・ 修士特待生に関わる事項
- ・ 博士学位予備審査及び学位論文申請資格審査結果について
- ・ 博士学位授与候補者
- ・ 博士前期課程修了・進級判定
- ・ その他、大学院の教育研究に関する事項

自己点検・評価委員会

- ・ 自己点検・評価に関する事項
- ・ 認証評価に関する事項
- ・ ファカルティー・ディベロップメントに関する事項

カリキュラム委員会

- ・ 教授会から付託されたカリキュラムに関する事項
- ・ 大学戦略会議から付託されたカリキュラムに関する事項
- ・ 次年度のカリキュラム原案について
- ・ オープン科目、PBL科目について
- ・ 成績評価基準の厳格な運用について
- ・ その他 各科カリキュラムの現状分析 等

リベラルアーツセンター運営委員会

- ・ センターのカリキュラム構成及び教員構成に関する基本的な事項
- ・ センターの各グループから提案された科目及び教員人事に関する事項
- ・ 大学院博士前期課程（修士）の共通選択科目に係る事項
- ・ 専門学科との連絡調整に関する事項
- ・ カリキュラム委員会および資格課程委員会との連絡調整に関する事項
- ・ その他センターに関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 講評会の実施
- ・ 学生による授業評価（授業リフレクション）の実施、集計結果の活用
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ リザーブド・ブックシェルフコーナーの設置 等

b 実施方法

- ・ 講評会：美術大学の大きな特色として、教員と学生が一同に会して教育成果発表や意見交換を行う場
- ・ リザーブド・ブックシェルフコーナー：シラバスに記載の教科書・参考書を複数冊購入し、図書館に設置

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 全ての教員を対象として実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 講評会はオープンスペースで行われるため、他学科等の教員にとって教授法の開発の役割も担ってきた。学外の特別講師なども参加する機会もあり、教員相互間だけでなく学外者も含めた広い視野での教授法の開発に役立っている。また、その教育成果の発表は授業の「ねらい」と共に展開されることが多く、教授法が他学科等の教員だけでなく、学生や学外者の評価を受けることになる。このような学生、教員相互、学外者に開かれた講評会の取り組みを通じて、PBL科目の設置など新しい教育方法の実現に繋げていく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年度前期・後期の2回実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

「授業リフレクション」は、原則として全授業科目を対象に実施する。

設問項目は、美術大学に相応しく〔標準（講義系）〕、〔実技制作〕の2種類を用意している。

集計結果は、各担当教員にフィードバックされ、翌年度のシラバスや授業運営方法の改善に繋げている。

また、今後は組織的な授業改善をさらに進めるため、①教員への振り返り「レポート提出」の義務化、

②課題やコメントを全学へ展開・共有する体制の構築、③改善概要を本学サイトで学生へ公開・還元する仕組み、の3点の制度設計・導入を検討している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 設置の趣旨・目的

本学大学院は、学部からの一貫教育を基盤に領域の専門性を深める教育研究を行ってきた。近年のデザインの役割は造形に留まらず、企業戦略や社会システムなど多様な領域と密接に関わっている。こうした背景のもと、従来のデザイン専攻内にあった「統合デザイン研究領域」を、独自の教育体系を確立するために「専攻」として独立・設置した。

本専攻では、学士課程の教育方針を基盤とし、高度な専門性と創造的な思考力・表現技術を備えた人材の育成を使命とする。既存の専門領域の枠組みを取り払い、諸領域を横断的・統合的に探究することで、複雑化した社会課題に対してデザインによる調和を求め、社会を豊かに美しく変革し、新たな未来を切り拓く高度なデザイン人材を養成する。

2. 教育課程の編成

本専攻では、ディプロマ・ポリシーの達成に向け、思考・理論と実践の双方から統合されたカリキュラムを体系的に編成している。

主軸となる「統合デザイン研究Ⅰ・Ⅱ」「研究指導Ⅰ・Ⅱ」では、学生が主体的に設定した研究課題に取り組む。また、指導教員主導のもと外部の企業や団体と社会的課題に挑む「統合デザイン演習Ⅰ・Ⅱ」や、多角的・多層的な批評力を養う「統合デザイン実習」を配置し、社会実装に繋げる力を獲得させる。さらに、領域の拡大を図る「統合デザイン特論」や「演劇舞踊特論」等の共通選択科目を設けている。学修成果の評価にあたっては、明示した基準に基づく厳格な評価を行うとともに、教員の専門性を活かした「クロスレビュー」を実施し、多角的に精度を高めている。

3. 教員組織の編成

研究科を担当する教員は、学士課程から博士課程までの教育を一貫して担当する学部の専任教員で構成されている。教員の採用等については関係法令および「多摩美術大学教員任命規程」に基づき、求める能力・資質等を厳格に審査している。

本専攻においても、デザインの第一線でプロとして活躍する現役のデザイナーや研究者を中心に、異なる専門領域の教員を配置した。これにより、学生が多角的な指導を受けられる体制を整えている。高度な造形実習、インターフェース、社会実装の技術指導等を通じ、学生の才能をプロレベルへと切磋琢磨し、学際的なアプローチを可能とする教員組織を設置時の計画どおりに構築している。

4. 教育方法、履修指導方法

本専攻の教育方法は、理論と実践の両面を重視し、プロジェクトベースの学習を基盤としている。履修指導では、学生が自身の研究テーマに沿って指導教員と共に個別のカリキュラムを設計する。主・副指導制による丁寧な指導体制のもと、年2回の中間報告会を行い、1年次末の中間審査(担当教員全員参加による透明性と厳格性の担保)を経て、2年次の修士論文または修士制作の提出へと繋げる。

また、自身のプロジェクトや創作活動の記録・調査資料を適切に管理し、自らのデザイン手法を実証的に理論化できるよう指導する。さらに、研究倫理教育責任者のもとで研究倫理教育を実施し、公正な研究活動の推進と不正行為の事前防止を徹底している。

5. 学生の受け入れ

美術研究科博士前期課程における収容定員の再編にともない、デザイン専攻の定員を減員し、新たに本専攻の収容定員を16名(入学定員8名)として設置した。

6. 総括評価・所見

以上のように、統合デザイン専攻は、設置の趣旨・目的の達成のため適正に履行している。
本専攻の教育活動の進捗や、新カリキュラムにおける改善課題への取り組み状況については、全学的な「自己点検・評価委員会」において説明・検証を行っている。さらに本学では、内部質保証の推進体制を強化するため、2026年4月の規程改正により推進組織を学長直轄の「大学戦略会議」へ一本化した。上記委員会での審議内容は「大学戦略会議」へ報告され、教授会報告および理事会決議へと至る確固たるガバナンス体制のもとで承認されている。今後もこの三層の改善循環システムを有効に機能させ、取り組みを継続していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成5年4月30日 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に「点検・評価報告書」を公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和5年度に公益財団法人 大学基準協会の大学評価（認証評価）を受け、適合していると認定された。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和8年度）

- a 公表予定の有無 [有]

《 aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。